

姫路獨協大学

2016年度前期「学生による授業評価」アンケート ～調査結果報告書～

I. 調査の概要

1) 調査目的

調査結果を各授業担当教員にフィードバックすることにより、次学期以降の教育内容・方法等の改善に資することを目的とする。

2) 調査項目

- ・学生の属性に関する項目(学年、学科等、性別、学生区分)
- ・学生の受講態度に関する項目(出席状況、マナー、一週間あたりの勉強時間)
- ・教員の授業に関する基本的な質問(話し方、教材の活用、目的明示、授業開始・終了時刻、授業の進度)
- ・教員の授業に関する姿勢についての質問(熱意、質問への対応、秩序維持、公平性)
- ・授業の内容に関する質問(シラバス準拠、分かりやすさ、新しい知見)
- ・授業に対する満足度に関する質問(学習意欲増、他の学生に推薦したい、総合満足度)
- ・各担当教員の希望オプション質問項目
- ・自由記述(良かったところ、改善すべきところ、授業評価アンケートに対する意見・要望等)
(※体育科目については、一部の質問を別の質問に替えて実施した)

3) 調査対象

- ・学部 of 全学生を対象に、開講している全ての授業科目(担当教員の専任・非常勤は問わない)について調査を実施。

なお、複数の授業科目を受講している学生は、受講科目ごとに重複して調査対象に数えるものとする。

4) 調査方法

- ① アンケート用紙は、講師控室(メールボックス)にて各授業開始前に教員へ配布する。
- ② 各授業の担当教員が授業開始時に学生へアンケート用紙を配布する。
- ③ アンケート用紙の回収は、学生(代表者を選出する)によって行い、その場で封緘する。
- ④ 代表として選出された学生は、回収したアンケート用紙を所定の場所(教務課)へ提出する。

5) 調査期間

- ・2016年7月1日(金)～2016年7月14日(木) ※原則として第1週目に調査実施、第2週目は予備日。

6) 調査主体

姫路獨協大学 FD委員会

7) データ入力・集計・分析等の委託機関

株式会社 アイピーリサーチ

〒540-0025 大阪府中央区徳井町2-2-2 テツタニビル3F
TEL 06-6944-0977 FAX 06-6944-0979 URL <http://www.ip-r.co.jp/>

8) 調査対象者数、回答者数、回収率等

	調査対象科目数	調査実施科目数	調査実施率
授業科目ベース	652科目	596科目	91.4%

※「調査対象科目数」「調査実施科目数」は、調査の実施単位・集計単位による科目数である。

	延べ調査対象者数	延べ有効回答者数	有効回収率
受講者ベース	18,920名	14,005名	74.0%

※「延べ調査対象者数」「延べ有効回答者数」は、複数の授業科目を受講・回答している学生を重複してカウントした。

〈回答者内訳〉

学年	件数	構成比
1年	5,808	41.5%
2年	3,220	23.0%
3年	3,091	22.1%
4年	1,037	7.4%
5年	37	0.3%
6年	294	2.1%
無回答	518	3.7%
合計	14,005	100.0%

性別	件数	構成比
男	7,219	51.5%
女	6,309	45.0%
無回答	477	3.4%
合計	14,005	100.0%

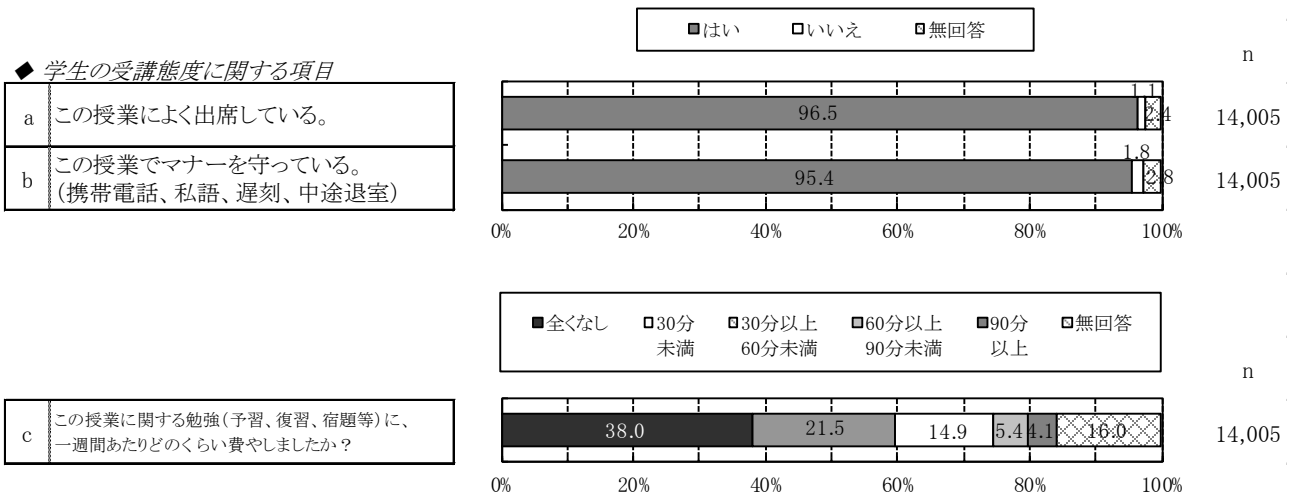
学生区分	件数	構成比
学部生	12,828	91.6%
その他	231	1.6%
無回答	946	6.8%
合計	14,005	100.0%

学部・学科	件数	構成比	
人間社会学群	1,628	11.6%	
外国語学部	1,122	8.0%	
法学部	725	5.2%	
経済情報学部	1,151	8.2%	
医療保健学部	4,427	31.6%	
内訳	理学療法学科	1,188	8.5%
	作業療法学科	987	7.0%
	言語聴覚療法学科	626	4.5%
	こども保健学科	702	5.0%
	臨床工学科	924	6.6%
薬学部	3,412	24.4%	
看護学部	1,122	8.0%	
無回答	418	3.0%	
合計	14,005	100.0%	

II. 調査の結果

◆ 学生の受講態度に関する項目

- ・[学生の受講態度]に関する学生の自己評価として、以下の3点について質問した。
 - ・『(a)この授業によく出席している』かどうかについては、「はい」が96.5%とほとんどを占めている。
 - ・同じく、『(b)この授業でマナーを守っている(携帯電話、私語、遅刻、中途退室)』かどうかについても、「はい」が95.4%とほとんどを占めている。
 - ・総じて、学生の自己評価としての受講態度は大変良いと言える。
 - ・『(c)この授業に関する勉強(予習、復習、宿題等)に、1週間あたりどのくらい費やしたか』については、「全くなし」が38.0%と最も多い。
- なお、「30分未満」が21.5%、「30分以上60分未満」が14.9%であり、6割もの学生が1週間のうち1時間も勉強していないとの結果である。



◆ 教員の授業に関する基本的な質問

- ・『(1)教員の話し方は明瞭で、授業内容がよく聞き取れる』かどうかについては、「非常にそう思う」が44.3%、「そう思う」が35.9%で、両者を合わせた肯定的評価が8割を占めている。
- ・体育科目では、上記質問に替えて『(1)教員の説明・指示の仕方はわかりやすかった』かどうかについて質問したところ、「非常にそう思う」が76.1%、「そう思う」が20.4%で、肯定的評価が9割台半ばとなっている。
- ・『(2)教員は、教材(教科書、レジュメ等)及び教育設備(ホワイトボード、パワーポイント等)を適切に活用している』かどうかについては、「非常にそう思う」が46.0%、「そう思う」が35.6%で、肯定的評価が8割強となっている。
- ・体育科目では、上記質問に替えて『(2)教員は、授業での課題呈示(教材や運動の種類など)を適切に活用している』かどうかについて質問したところ、「非常にそう思う」が72.4%、「そう思う」が18.8%で、肯定的評価が9割強となっている。
- ・『(3)教員は、授業のテーマや目的を明確に示している』かどうかについては、「非常にそう思う」が47.4%、

「そう思う」が34.3%で、肯定的評価が8割強となっている。

- 体育科目では、上記質問に替えて『(3) 毎回、少しでも運動技術は上達している』かどうかについて質問したところ、「非常にそう思う」が72.1%、「そう思う」が22.3%で、肯定的評価が94%台となっている。
- 『(4) 教員は、授業の開始時刻を守っている』かどうかについては、「非常にそう思う」が57.2%、「そう思う」が29.9%で、肯定的評価は9割弱である。
- 『(5) 教員は、終了時刻よりも大幅に早く、授業を打ち切ることにはほとんどない』かどうかについては、「非常にそう思う」が54.6%、「そう思う」が31.1%で、肯定的評価は8割台半ばである。
- 『(6) 教員は、終了時刻を大幅に超過して、授業を続けることはほとんどない』かどうかについては、「非常にそう思う」が57.6%、「そう思う」が29.3%で、肯定的評価が9割弱となっている。
- 『(7) この授業の進度は適切である』かどうかについては、「非常にそう思う」が45.1%、「そう思う」が32.8%で、肯定的評価が8割弱となっている。

なお、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた否定的評価(全体の4.2%)を行った学生に対しては、進度が速いのか遅いのかを重ねて質問したところ、「速すぎる」が(否定的評価者全体の)6割、「遅すぎる」が2割、また、無回答も2割弱存在する。

- 以上より、[教員の授業に関する基本的な質問]に対する学生の評価は総じて高く、特に問(1)～問(4)までは肯定的評価が全て8割以上と一律の評価となっている。体育科目固有の質問ではさらにその傾向が顕著で、問(1)～問(3)の全ての質問で肯定的評価が9割を超える。

◆ 教員の授業に関する姿勢についての質問

- 『(8) 教員の授業態度に、熱意が感じられる』かどうか、『(9) 教員は、学生からの質問等に適切に対応してくれる』かどうか、『(10) 教員は、授業の秩序を保つための努力を行っている』かどうか、『(11) 教員は、学生に対して公平に接している』かどうかについては、4項目とも肯定的評価が8割強となっている。
前頁の[教員の授業に関する基本的な質問]に引き続き、[教員の授業に関する姿勢]に対しても学生の評価は総じて高い。

◆ 授業の内容に関する質問

- 『(12) 授業内容は、シラバスに示された内容を満たしている』かどうかについては、「非常にそう思う」が45.7%、「そう思う」が34.1%で、肯定的評価がほぼ8割となっている。
- 『(13) 授業内容の説明は、わかりやすく、理解できる』かどうかについては、「非常にそう思う」が43.1%、「そう思う」が33.0%で、肯定的評価が7割台後半となっている。
- 『(14) この授業を通じて、新しい知識を得たり、物の見方や考え方が学べる』かどうかについては、「非常にそう思う」が42.5%、「そう思う」が34.0%で、肯定的評価が7割台後半となっている。
- 体育科目では、上記質問に替えて『(14) この授業を通じて、運動・スポーツや健康に対する興味や関心が深まった』かどうかについて質問したところ、「非常にそう思う」が73.2%、「そう思う」が21.4%で、肯定的評価が9割台半ばとなっている。前出の体育科目固有の3質問と合わせて見ると、体育科目固有の計4質問では、肯定的評価が全て9割を超えており、否定的評価は1%前後と極端に低いことが分かる。
- 以上より、[授業の内容に関する質問]に対する学生の評価も概ね高く、問(12)～問(14)(体育科目固有の質問を除く)の全ての質問で肯定的評価が7割台後半と一律の評価である。

◆ 授業に対する満足度に関する質問

- ・『(15)この授業に触発されて、さらに学習意欲を持つようになった』かどうかについては、「非常にそう思う」が38.8%、「そう思う」が32.8%、両者を合わせた肯定的評価が7割強であり、問(1)～問(17)の全質問中で肯定的評価が最も低い項目が本項目である。また、否定的評価は6.5%と1割未満ではあるものの、全質問中で否定的評価が最も高い項目の1つでもある。なお、「どちらとも言えない」が19.2%と多く見られる。
 - ・『(16)この授業を他の学生や後輩に推薦したいと思う』かどうかについては、「非常にそう思う」が41.5%、「そう思う」が31.0%で、肯定的評価が7割前半となっている。「どちらとも言えない」も18.4%と多く見られる。
 - ・以上の各質問の総合的な評価・総合満足度としての『(17)総合的にみて、この授業を受講して満足している』かどうかについては、「非常にそう思う」が42.7%、「そう思う」が31.8%で、肯定的評価は74.5%であった。また、否定的評価は6.2%、「どちらとも言えない」は16.4%となっている。
 - ・以上より、[授業に対する満足度に関する質問]に対する学生の評価は概ね高く、7割を超える学生に対して、総合的な満足を提供できていると言える。
- ただし、前出の[教員の授業に関する基本的な質問][教員の授業に関する姿勢についての質問][授業の内容に関する質問]に属する各質問と比較すると、[授業に対する満足度に関する質問]に属する3質問は肯定的評価がやや低い傾向が見られる。次頁のグラフを参照されたい。

◆ 教員の授業に関する基本的な質問

1	教員の話し方は明瞭で、授業内容がよく聞き取れる。 《体育科目》教員の説明・指示の仕方はわかりやすかった。
2	教員は、教材(教科書、レジュメ等)及び教育設備(ホワイトボード、パワーポイント等)を適切に活用している。 《体育科目》教員は、授業での課題提示(教材や運動の種類など)を適切に活用している。
3	教員は、授業のテーマや目的を明確に示している。 《体育科目》毎回、少しでも運動技術は上達している。
4	教員は、授業の開始時刻を守っている。
5	教員は、終了時刻よりも大幅に早く、授業を打ち切ることがほとんどない。
6	教員は、終了時刻を大幅に超過して、授業を続けることはほとんどない。
7	この授業の進度は適切である。

◆ 教員の授業に関する姿勢についての質問

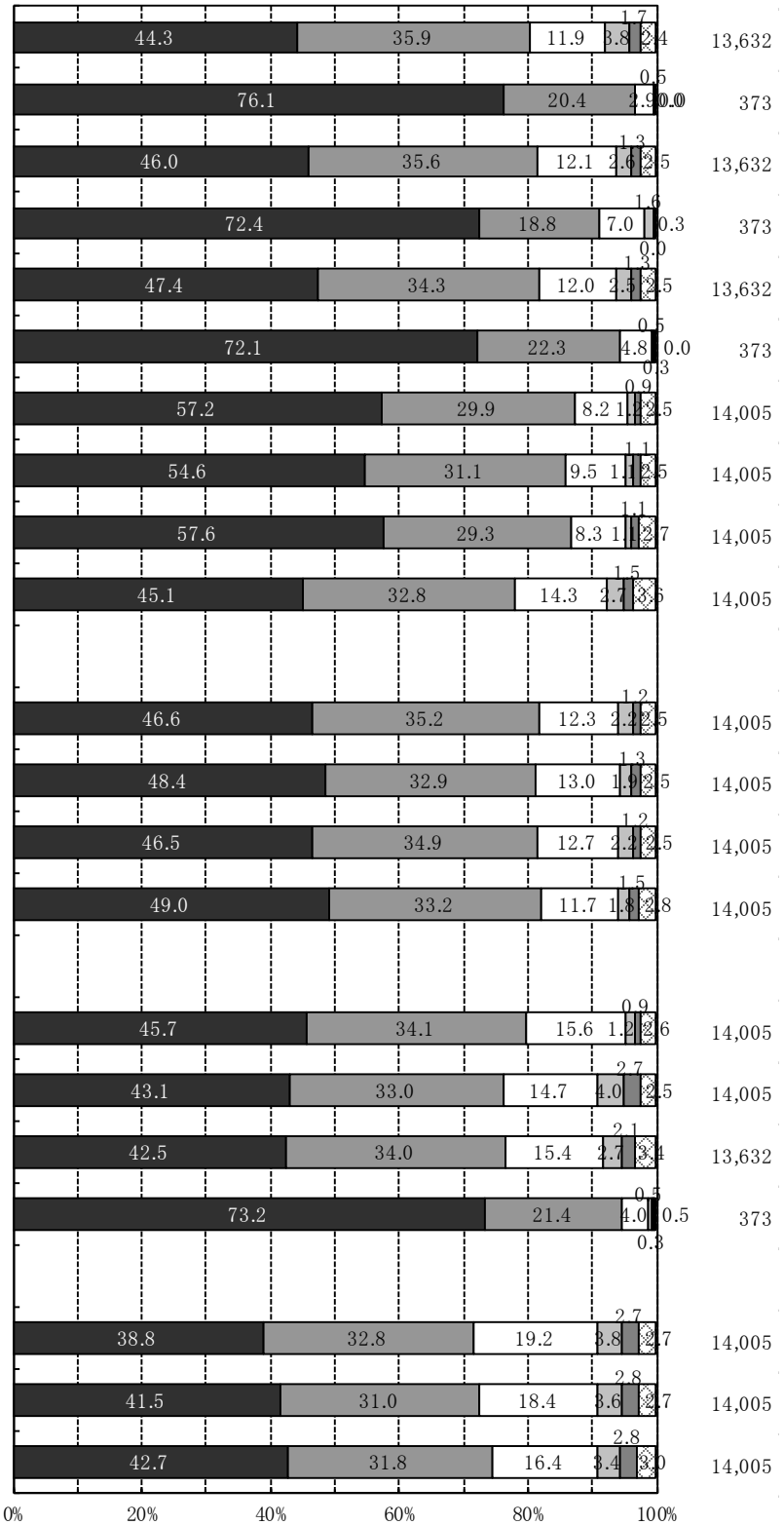
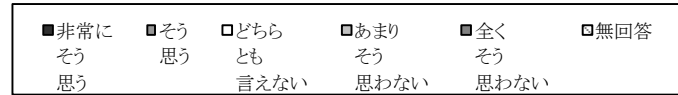
8	教員の授業態度に、熱意が感じられる。
9	教員は、学生からの質問等に適切に対応してくれる。
10	教員は、授業の秩序を保つための努力を行っている。
11	教員は、学生に対して公平に接している。

◆ 授業の内容に関する質問

12	授業内容は、シラバスに示された内容を満たしている。
13	授業内容の説明は、わかりやすく、理解できる。
14	この授業を通じて、新しい知識を得たり、物の見方や考え方が学べる。 《体育科目》この授業を通じて、運動・スポーツや健康に対する興味や関心が深まった。

◆ 授業に対する満足度に関する質問

15	この授業に触発されて、さらに学習意欲を持つようになった。
16	この授業を他の学生や後輩に推薦したいと思う。
17	総合的にみて、この授業を受講して満足している。



以上